

年頭のごあいさつ

南木曾町長 宮川 正光



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年8月の総選挙の結果、民主党を中心とした新政権が誕生いたしました。地域主権の政治、コンクリートから人へという政策を掲げ、マニフェストの実現に向けて行政刷新会議による事業仕分けなど従来にない手法により進めております。地方への影響の不透明な状況は続いており大変心配をしておりますが、政府は、昨年12月8日に「明日の安心と成長のための緊急経済対策」をとりまとめました。

さて、昨年は町民の皆様や関係各位のご指導ご協力によりまして、長期振興計画に基づいた南木曾小学校改築事業など、事業

を着実に実施することができました。心より感謝申し上げます。

本年は、ハード事業関係では、引き続き南木曾小学校南南校舎建設・南校舎の大規模改修工事、国道19号と町道を結ぶ役場横の町道島の平下線の開設、ユーアイ住宅の建設、木曾川右岸道路の開設等を進めます。ソフト事業といたしましては、当町では平成23年1月1日をもって町制施行50周年という大きな節目の年を迎えることから各種記念事業を住民の皆様の参画をいただく中で進めてまいります。また、地域交流事業のより一層の推進など、長期振興計画及び実施計画に基づいて様々な事業を展開してまいります。

次に町の計画関係であります。平成22年度から26年度の5ヵ年を計画年度とします「第2次南木曾町自立推進計画」を策定いたします。第2次の自立推進計画は、基本的には第1次自立推進計画を踏襲することとしておりますが、第1次計画で町民の皆様が無理をお願いしてご理解とご協力

をいただきました各種の税や使用料の中で、固定資産税の税率につきましては、この5年間で町の財政状況も少しではありますが改善されてきていることから、16%から15%に引き下げを盛り込みたいと思っております。

私が2期目の町政を担わせていただき、早や2年が過ぎようとしております。本年も初心を忘れることなく、「協働で笑顔こぼれるまち」を指針といたしまして、宮沢賢治の「雨にも負けず」のように、誠心誠意、町政発展のために全力を尽す所存ですので、町民の皆様方の絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。

最後に、町民の皆様が、自然災害や事故に巻き込まれることなく安心して暮らせるため、お隣同士が声を掛け合い、助け合つて平穏な一年であることを祈念するとともに、将来にわたり、町の礎を築く、若者の元気な声が町中に響くこと、皆様方にとって幸せ多い素晴らしい年でありますことをあわせてお祈りいたしました。新年のあいさつといたします。

